



## 防災カフェ

## — 緊急地震速報を見聞きしたら —

4年前に発生した胆振東部地震では、地震発生を知らせる緊急地震速報の報知音に驚かれたかたも多かったと思います。

地震が発生すると、震源からは揺れが波となって地面を伝わっていきます（地震波）。地震波には、早く伝わる揺れ（P波、秒速約7km）と遅れてやってくる揺れ（S波、秒速約4km）があり、強い揺れによる被害をもたらすのは主に後からやってくるS波です。この地震波の伝わる速度の差を利用して緊急地震速報が発表されます。（※緊急地震速報は、最大震度5弱以上の揺れが想定される場合に、震度4以上が予想される地域に発表されます。）

外出時に緊急地震速報を受信した場合は、次のことに注意しましょう。

人が大勢いる施設では、あわてて出口に走り出すなどせず、落ち着いて施設の係員の指示に従いましょう。自動車運転中は、緩やかにスピードを落としてハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促してください。鉄道やバスなどに乗車中は、転倒などを防ぐためにつり革や



手すりにしっかりつかまってください。街中では、看板や割れたガラスの落下、ブロック塀の倒壊等に注意しましょう。また、山やがけ付近では落石やがけ崩れに注意が必要です。

大きな地震の後には、家族などの安否が心配になりますが、通信が集中して電話などがつながりにくくなることがあります。そのようなときは災害用伝言ダイヤル（171）を利用してください。このサービスは体験利用することもできますので、いざという時の備えとして、身近なかたを誘って利用方法を確認してはいかがでしょうか。

なお、震源が近い場合は、強い揺れの到達に緊急地震速報が間に合わない場合がありますので注意しましょう。

◎災害用伝言ダイヤルの詳細はこちらから  
（NTT東日本企業情報サイト）  
<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/index.html>



●詳細 危機対策係 ☎27-7058

## 住宅防火・防災キャンペーンのお知らせ ～敬老の日に『火の用心』の贈り物を～

近年の全国での住宅火災による死者数は900人前後の高い数で推移しています。

このうち約7割が65歳以上の高齢者であり、今後更なる高齢化の進展に伴い、住宅火災における高齢者の死者数の増加が懸念されます。

これを踏まえて、住宅火災における高齢者を中心とした死者数の低減を図るため「敬老の日に『火の用心』の贈り物」をキャッチフレーズに、改めて高齢者に火災予防を注意喚起するため、住宅防火・防災キャンペーンが9月1日～21日まで実施されます。この機会に祖父母や両親

に住宅用防災機器をプレゼントしてみたいかがでしょうか。

火災から身を守るためには、「早く知る」「早く消す」「火を拡大させない」ことが重要となります。火の不始末に注意するのはもちろん、住宅用火災警報器や住宅用消火器等を設置して、命を守りましょう。また、住宅用火災警報器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。10年を目安に交換しましょう。

●詳細 芦別消防署保安係 ☎22-3106

## クマの出没にご注意ください

秋は、クマが冬ごもりの準備をするため食べ物を求め、行動が活発になります。

山菜採りやハイキングシーズンを迎えるにあたり、ヒグマに遭遇する機会が増えますので、人身被害を未然に防ぐため、野山に出掛ける際は十分注意しましょう。

●詳細 林務係 ☎27-7378